

2026 年 9 月 4 日

日販セグモ株式会社

東京都千代田区外神田 6-1-8 思い出ビル 9 階

文具女子博の産学連携プロジェクト

「文具のアイデアコンペティション 2026」受賞作決定！

日本最大級の文具の祭典「文具女子博」を企画・運営する日販セグモ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：安井邦好）は、工大サミットとのタイアップ企画として、工大サミット参加大学の学生を対象とした「文具のアイデアコンペティション 2026」を開催し、この度受賞作が決定いたしました。



文具女子博は、“見て・触れて・買える”日本最大級の文具の祭典です。累計来場者数は80万人を突破！多彩な文具を通してお客様に「ときめき」を提供し続けています。

「文具のアイデアコンペティション」は、文具女子博の産学連携の取り組みで、2023 年に東北工業大学（仙台市）をパートナーにスタート。「文具のアイデアコンペティション 2026」では、北海道科学大学（札幌市）も共催者として参画いたしました。応募資格は工大サミットに参加する工科系大学の学生たち。学生ならではの発想から生まれる、新しい文具のアイデアを募集。痒いところに手が届くアイデア文具や、文具らしからぬ奇抜なデザイン文具など、まさに工科系大学生らしい多様な応募作品が年々増加してきております。

- ・文具のアイデアコンペティション
https://bungujoshi.com/idea_competition/
- ・文具女子博
<https://bungujoshi.com/>

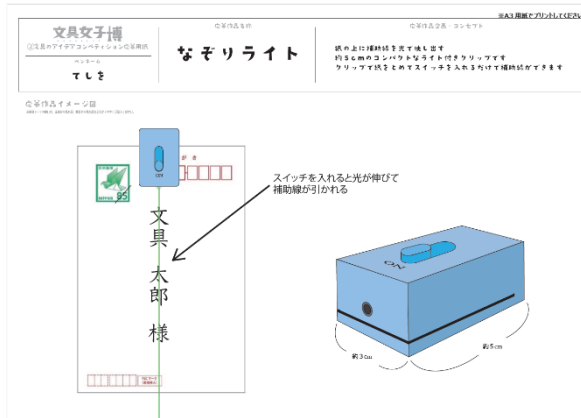
この度、「文具女子博 in 大阪 2026」にご来場いただいたお客様からの投票をもとに、受賞作が決定いたしました。

■「文具のアイデアコンペティション 2026」の結果

1. 大賞

作品名「なぞりライト」

東北工業大学 ライフデザイン学部 産業デザイン学科 2年 手嶋優さん



<受賞者の声>

この度は投票、そして大賞に選んでいただき誠にありがとうございます。

「なぞりライト」は、補助線のない紙に文字をまっすぐ書けず不便を感じた自身の経験から生まれました。「文具を進歩させろ」というテーマに対し、“書く”行為を補助するという新しい切り口で制作しました。今回の受賞を励みに、これからも「欲しい」と思っていただけのものづくりに取り組んでいきたいです。

2. 優秀賞

作品名「パンチングファイル」

東北工業大学 ライフデザイン学部 産業デザイン学科 3年 大友柚季さん・小田頼さん・齋藤寛太さん



<受賞者の声>

この度は優秀賞に選んでいただきありがとうございます。

パンチングファイルは、高校時代の不満から発想したアイデアです。

フラットファイルに資料を挟む時、わざわざ穴あけパンチで穴を開けなければいけないのが面倒だと感じていました。そこで、穴を開けてそのまま挟めるパンチングファイルを考案しました。3人で試行錯誤しながら扱いやすい形としてアイデア化できたと思います。この経験を活かしてこれからも価値を生み出すものづくりに関わっていきたいです。

3. 文具女子博特別賞

作品名「桜咲くペン」

芝浦工業大学大学院 理工学研究科機械工学専攻 修士2年 中野優奈さん



<受賞者の声>

この度は文具女子博特別賞をいただき、誠にありがとうございます！

「桜咲くペン」は、受験勉強など成果が見えにくい努力の時間を少しでも前向きにできたらという思いから考案しました。手の熱で桜が少しずつ開花していく様子に、自分の頑張りや成長を重ねてもらい、いつか努力の花が咲く日への励みになることを願ってデザインしました。

投票してくださった皆さま、本当にありがとうございました！

4. 関西みらい銀行賞

作品名「LAST のり」

大阪工業大学 工学部生命工学科 4年 土井愛綺斗さん



<受賞者の声>

この度はこのような素晴らしい賞をいただき、たいへん光栄に思います。

今回のアイデアは、日常の小さな不便に目を向けたことを評価していただけたのだと感じています。アイデアを形にする過程では多くの学びがあり、このような機会をいただけたことに感謝しています。今後も身近な課題に目を向け、人々の生活を少しでも便利で豊かにできるような発想を大切にしていきたいと思っています。

■文具女子博 文具のアイデアコンペティション 2026 開催概要

①「文具女子博 文具のアイデアコンペティション」とは

「メモをとる」、「データを管理する」といった、これまで文具が担ってきた機能が、スマホ1台で完結してしまう時代が到来しました。スマホが普及した現代で、文具は今後どのように進化していくべきなのか。昨今の文具ブームの中、文具メーカーは日々模索しています。

「こんな文具があったら便利だろうな」

「こんな文具の使い方は面白いかも！」

自由で柔軟な学生ならではの発想を募集いたしました。

「文具女子博 in 大阪 2026」に来場したお客様と、文具女子博に出店している文具メーカーのスタッフの面々による投票によって、受賞作が決定しました。

②主催

文具女子博実行委員会（日販セグモ株式会社・株式会社エムディーエス）

③共催

東北工業大学・北海道科学大学

④協力

関西みらい銀行

⑤応募テーマ

「Progress stationery! ～文具を進歩させろ～」

⑥応募資格

工大サミット参加大学に在籍する学生、大学院生と付属等の高校生の方

⑦審査のポイント

1. アイデア自体に新規性はあるか？

工業大学の学生ならではのアイデアが求められます。

2. どのような課題解決が図られるアイデアなのか？

その文具特有の課題が解決されるアイデアが求められます。

3. 文具女子博のお客様に満足していただけるような「見た目のかわいらしさ」はあるか？

またその文具を使った際に「気分が上がる」要素はあるか？

⑧審査方法、スケジュール

1. 一次審査

2026年2月

プロジェクト事務局によって一次審査を実施。ノミネート作品が決定。

2. 最終審査

2026 年春に開催された「文具女子博 in 大阪 2026」の会場内にノミネート作品を展示。ご来場のお客様と出店する文具メーカーのスタッフによる投票をもとに、当プロジェクト事務局によって受賞作が最終決定いたしました。

⑨公式サイト

https://bungujoshi.com/idea_competition/

※「工大サミット」は、工業立国を支える人材育成に対する工科系大学としての使命と、ボーダレス化の進展する世の中で、イノベーションを創出し、グローバルな環境で活躍できる人材育成を共通課題とし、各大学の人的・物的資源の情報共有と、相互の連携・協力による理工系高等教育の更なる活性化を目指して、2017 年 3 月に設立されました。参加大学は愛知工業大学、大阪工業大学、神奈川工科大学、芝浦工業大学、東北工業大学、広島工業大学、福井工業大学、福岡工業大学、北海道科学大学。

■「文具女子博」とは

文具にこだわる文具ファンに向けた、文具の即売イベント。累計の来場者数は 80 万人を突破し、まさに日本最大級の文具の祭典です。昨年末の「文具女子博 2025」は、開催 5 日間で約 58,000 人がご来場。日本全国のみならず海外からも、文具が大好きなお客様が押し寄せます。老舗の文具メーカーや気鋭の新しいメーカー、またオリジナル商品が充実した文具店などが一堂に会します。お客様は直接文具を見て、触れて、その場でお気に入りのアイテムをご購入いただけます。

【公式サイト】 <https://bungujoshi.com/>

【公式 SNS】 <https://x.com/bungujoshi/> (X)

<https://www.instagram.com/bungujoshi/> (Instagram)

※ 株式会社エムディーエス（代表取締役社長：豊田 栄一）が共催として参画します。

<協賛のお問い合わせ等・法人の皆様はこちら>

<https://bungujoshi.com/business/>

<本件に関するお問い合わせ先>

文具女子博実行委員会事務局

TEL : 03-4335-0874 (平日 10:00~12:00、14:00~17:00)

E-mail : bungujoshi@nippan.co.jp

<ご協賛に関するお問い合わせ先>

E-mail : bungujoshi@nippan.co.jp (担当 : 大山)